

人工林はどうやって育てられているの？

長い年月をかけて育てるんじゃ。



人工林を育てるために

人工林を育てるには、苗木^{なえぎ}を植えてから木材として切り出すまで、何十年もの長い時間がかかります。そのため、林業を営む人は、家族ぐるみで何世代にもわたって森林を手入れします。人工林を育てることは、大きな木材をとるためだけでなく、わたしたちのくらしや地球の環境^{かんきょう}を守るためにとても大切な仕事です。

木がりっぱに育つように手入れをすることが大切です。

家をつくる材料として、山でスギやヒノキを育てて 山鹿市 野中さん(林業)います。先祖からずっと山を受けついで、私の代で5代目になります。山で木がすくすく育つように、苗木^{なえ}を植えたり、間伐^{かんばつ}や雑草を刈りとりたり手入れをすることがおもな仕事です。一本の木が育つまで、長い年月がかかります。私が今、山から切っているのは、おじいちゃんやひいじいちゃんが植えた木なのです。



⑥主伐・収穫

熊本県では植え付けから収穫するまでに、早くても40年、50年ほどかかります。切った後は、再び苗木を植えます。

⑤間伐・収穫

植え付けてから20年ほどたったら、木と木の間隔が広くなるように木を切って本数を減らし、残った木が太くなるようにします。間伐をしないといい木材になる木が育ちません。切った木は間伐材として収穫され、色々なところで利用されています。

④枝打ち

質のいい木にするために、低いところの枝を切り落とします。枝打ちをすることで、節の少ない木材にすることができ、林内も明るくなります。

人工育てる

メモ



マツの木

① 苗木づくり

なえ ぎ
苗畑に種をまいたり、さし木^{*1}を
したりして、2～5年ほどかけて山に植えられ
るくらいの大きさ(50～70cm)に育てます。
熊本県ではさし木で育てることが多いです。



② 植林

しょうりん
育った苗木を
山に植えます。主に
春に植えること
が多いようです。
木の成長を考え
て、2mくらいの間
をあけて植え付
けていきます。

林を
ために



③ 下草刈り

したくさが
植え付けた苗木が、周りの雑草に負け
ないよう、植え付けから5～8年間、伸
びた周りの雑草を刈り取ります。



*1: 木の枝の一部を切り取り、土にさして苗木を育てる方法。



森林に入って作業をしながら
林業について学んでいます。

熊本県立芦北高等学校 林業科

熊本県には林業について専門に
学ぶことができる高校があります。
実際に森林に入って、木を育てる作業
をしながら、林業の仕事について学ぶ授業も
あり、木にふれながら作業することで、自然の
豊かさや大切さを学ぶことができます。多くの
卒業生が、森林・林業にかかわる仕事に進み、
活躍しています。



木や森に関わることを学べる熊本県内の学校

(1) 高等学校

学校名	科・コース
県立芦北高等学校	林 業
県立矢部高等学校	林業科学
県立南稜高等学校	総合農業
県立阿蘇中央高等学校	緑と水の科学
県立八代農業高等学校 泉分校	グリーンライフ
県立熊本工業高等学校	建 築
県立小川工業高等学校	
県立水俣高等学校	
県立球磨工業高等学校	
私立開新高等学校	

(2) くまもと林業大学校 (1年間)

2019年4月開校

マツの実



マツの葉